

# 崎 定 長 検 一級 さん

Vol.2

## 長崎の魅力を極める果てしない挑戦

「長崎歴史文化観光検定と

長崎さるくに寄せて」

股張一男さん

合格率四・八％……。長崎歴史文化観光  
検定の最難関を突破した一級ホルダー。  
その卓越した識見には、なにやら一言  
ありそうです。  
ざっくばらんに寄稿願いました。

通称「長崎検定」の対象分野は、長崎の歴史や原爆・平和、食文化、文学など、実に十六分野（番外編を除く）に及びます。最初は、私もそのポリキュムの多さに圧倒され、戸惑いでしたが、公式テキストブックを読むにつれ、日頃気づかなかった長崎の魅力を数多く知って、自然と受験への気持ちが高まり、平成十八年に三級と二級、そして今回、念願の一級合格に至りました。働きながらの受験勉強はなかなか思うように進まず、一時は受験を断念しようと思っただけで、「二級合格」を知った時の喜びは言葉で言い尽くせないほどでした。

長崎検定や長崎さるくの取り組みを契機に、長崎の歴史や文化の奥深い魅力を再発見し、長崎のまちに愛着をもつ市民が増えているのは、素晴らしいことであり、それに伴い市民の観光に対する意識やホスピタリティも着実に高まってきていると思います。ぜひ、「長崎検定」等の取り組みが、次世代の子供たちを含め、末永く市民に親しまれ、国際観光都市・長崎の重要な資産となるよう、関係者の皆様方の粘り強い取り組みを期待しています。

さて、皆さんからよく尋ねられる「二級合格の秘訣」の話ですが、テキストや参考文献のマスターは必須条件として、私の場合は、「楽しみを発見しながら学ぶ」ことを心がけました。例えば「長崎料理と食文化」や「歌謡史・映画・芸能」を学ぶ場合、普茶料理や伝統野菜を仲間と食べたり、文献で長崎料理のレシピを確認したり、凸助と愛八の「ぶらぶら節」を聴き比べたりして、五感で楽しみながら生きた知識を得るように努めました。

また、出題分野の大半を占める歴史については、「長崎さるく」や「史跡めぐり」等に参加することで、丹念に「長崎のまちの記憶」を辿り、歴史や文化財、史跡等の魅力と本質を体系的に掴むようにしています。特にガイドツアーの「長崎通さるく」は、歩くたびに新しい発見や感動がありますし、外海や茂木、深堀など、旧市街地にはない特有の魅力を体験できるので、お勧めです。

長崎のまちは、二〇一〇年の大河ドラマ「龍馬伝」や教会群・近代化産業遺産の世界遺産登録に向けた取り組みなど、大いなる可能性



### 【プロフィール】

1962年11月、長崎市生まれ。46歳。長崎市役所勤務。2004年から長崎さるく博'06、長崎さるくのコース設定やマップ作成等に携わる。趣味は、音楽・映画鑑賞、さるくガイド、ガーデニングなど。得意なガイドは、「長崎はローマだった」「長崎は今日も異国だった」コースほか。

を秘めており、千載一遇のチャンスを迎えています。果てしない挑戦ですが、今後ともライフワークとして長崎の魅力を極め、ガイド活動や講座を通して、観光客等の皆様にまちの魅力をしっかりと発信していきたいと思っています。終わりに、日頃からお世話になっておりますガイドの皆様や元・市民プロデューサーの皆様、多くを学ばせていただいた越中哲也様、宮川雅二様、原田博二様、本田悠二様をはじめ諸先生の皆様、地域の皆様、そして家族や仲間達の支えに心から感謝し、筆を置きます。